

TAMI主催の商談会が盛況 日台間で実りある交流

台湾經濟部国際貿易署と台湾機械工業同業公会（TAMI）は6月17日と18日の2日間、「日台機械連携商談会」を開催した。17日は名古屋市中村区のウインクあいちで、18日は東京都港区の機械振興会館で開き、台湾企業16社が参加した。日本からは機械メーカーや商社などが出席し、台湾企業と商談を交わした。

5年ぶりに日本で開催

台湾經濟部国際貿易署とTAMIが日台機械連携商談会をリアル開催するのは5年ぶり。新型コロナウイルスの影響があったため長らく日本での開催を見合わせていたが、過去の商談会では日台間で新たな取引が生まれたケースも多く、再開が待ち望まれていたという。

TAMIの黄立翰理事は開会のあいさつで「TAMIは1945年の創立で、現在の会員企業は3000社に迫る。コロナ禍で開催できていなかったが、今回が有意義な商談の場になれば」と語った。

また共催の機械振興協会の櫻井和人副会長は「世界経済の不透明さは増すが、日本と台

湾の関係は非常に良好。商談会を通じて交流をさらに深めてほしい」と話した。同じく共催の日本工作機械輸入協会の勝又峰行専務理事は「今年の後半から来年にかけて、日本や台湾で大規模な展示会が予定されている。この場も含めてビジネス拡大の契機になれば」と伝えた。

個別にじっくり商談

会場では台湾の工具メーカーや加工業など16社が、製品やサンプルワークを交えてそれぞれの強みをアピールした。25分ごとに時間を区切り、日本企業が入れ替わりで台湾企業と個別に商談をした。「1社ずつじっくりと話を聞けて良かった」と参加した日本企業は満足げに語る。



活発な商談を交わす会場の様子

商談会に初めて参加した添鼎興業（台中）は、テレスコカバーを製造する。ユーザーの機械設計に合わせて柔軟にカスタマイズできるのが強みという。王彦霖セールスマネージャーは「大型機向けのテレスコカバーも短納期で製造でき、コスト面も優位。これから海外進出を狙う上で、まずは日本で展開したい」と意気込む。

台湾引興（台中）は板金加工を得意とする。特にチップコンベヤーの売り上げが伸びており、台湾の他には中国や米国からの受注が多い。2019年に名古屋事務所を開設してから、日本企業との取引も増えた。蔡杏玫名古屋事務所代表は「パソコン上で製品図面の自動生成を実現しているため、ユーザーの要望に素早く応えられる」と自信を見せる。

泳昌企業（台南）は部品加工で40年以上の歴史を持つ。射出成形機やアルミ押出機用の部品の他に、船舶や半導体製造装置関連の部品も製造す



台湾企業16社が参加した



TAMI東京事務所の石田康代表

台湾の工作機械業界の今

TAMI
黄立翰 理事

台湾の製造業の足元の市況は、減速傾向にあります。半導体関連は好調ですが、工作機械業界は厳しい状況です。その要因の一つは、円安の影響です。輸出面で日本の工作機械メーカーとの製品価格の差が縮まり、優位性が失われています。

もう一つは、中国メーカー製機種のパフォーマンスの向上です。これまでは台湾メーカーが性能で一歩先を行く印象でしたが、コロナ禍で開発が進んだのか、中国メーカーの技術の進展が著しく感じます。

そのような状況下で、台湾の機械メーカーはさらなる技術の向上を目指しながら、機械単体ではなくラインで納入できるように取り組んでいます。

また今後は新たな市場の開拓も必要になります。最大の輸出先は中国ですが、中台間の貿易協定「ECFA（エクファ）」に基づく優遇関税措置が停止してしまい、工作機械の輸出も厳しくなります。そのため今後はインドをはじめ東南アジアへの進出も重要に



なるでしょう。台湾政府も機械メーカーへ積極的な海外展開を呼びかけています。

もちろん日本市場への進出も、多くの台湾企業が目指しています。台湾の半導体ファウンドリーの多くは、日本製の半導体製造装置を使っています。ファウンドリー企業と直接取引をするのは難しいため、日本の半導体製造装置市場への参入を狙っています。

業界の課題としては、人手不足も深刻です。半導体産業に人材が集中し、工作機械業界は技術者が足りていません。そこでTAMIは大学と連携して人材育成事業に注力しています。大学生が一年生の時点からインターンのように機械メーカーで仕事を学び、それで単位を取得できる制度を作りました。卒業後にその企業に就職してもらえたら理想的ですね。

る。陳佳麟営業部長は「わが社はコストよりも品質を追求する。そのため共通の意識を持つ日本企

業に提案を強めたい」と話す。台湾企業も日本企業も熱意は高く、前のめりで話し込んでいる

様子も見られた。ある日本企業は「ちょうど探していた案件に合致しそうな企業と出会えた。ワーク

の試作を始めるとのことでした。TAMI東京事務所の石田康代表は「2日間とも非常に盛り上がった。実りある商談となったようで良かった」と話す。

商談会後は会場を移して懇親会を開き、日台間の親睦を深めた。

（水野敦志）



台湾企業はサンプルワークを並べてアピール



商談会後は懇親会を開いて親睦を深めた